



安全・安心な道路利用のために

横浜国道事務所では、現在の国道1号・15号(一部区間を除く)をはじめとした、神奈川県内の主要な国道を管理し、皆さまの安全・安心な道路利用のために道路の維持・修繕などを行っています。

~防災点検~

豪雨等による災害の可能性のある箇所について「防災カルテ」を作成し、年1回詳細な点検を行っています。災害の要因を早期に発見し、対策の必要な箇所を速やかに補修することにより災害の発生を未然に防ぎます。

国道1号戸塚区での防災点検状況

緊急通報 #9910へ
(無料)

道路緊急ダイヤル



道路の異状を見つけたらご一報ください

安全な場所へ停車して 道路の状況を選択
1.首都高速
2.その他の中自動車道
3.それ以外の道路
道路の状況を選択
緊急通報
(上記から道路の番号を選択してください)

東海道風景街道
東海道風景街道は、日本風景街道※に登録されたルートの一つで、国道1号を中心とした旧東海道のうち、横浜市内の3つの宿場(神奈川宿、保土ヶ谷宿、戸塚宿)において、歴史的資源などを活かした地域活性化に資するウォーキングイベントや講演などの取り組みを行っています。

※日本風景街道は、郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見・創出するとともに、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を促し、以って、地域活性化、観光振興に寄与し、これにより、国土文化の再興の一助となることを目的とします。

実施機関 国土交通省関東地方整備局・東日本高速道路株式会社・中日本高速道路株式会社

緊急通報以外の道路相談は道の相談室へ

ホームページアドレス <http://www.ktr.mlit.go.jp/honkyoku/road/michi/>

●相談内容の回答については関係する機関から後日回答となる場合もありますので承ります。

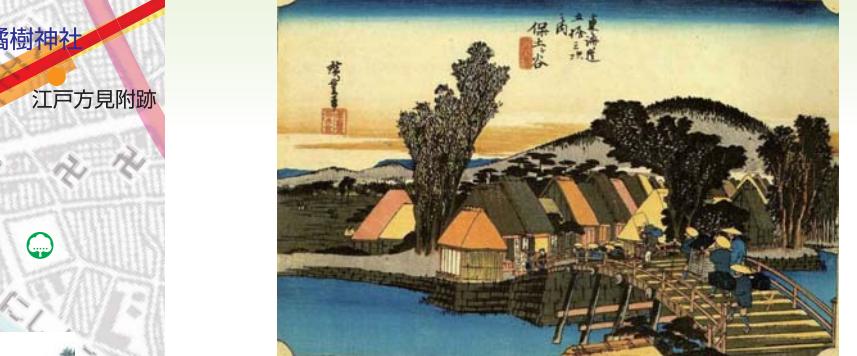
発行:国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2 TEL045-311-2981

H24.3(H31.3 増刷)

慶長六年（一六〇一年）、徳川家康が東海道に宿駅伝馬制度を定め、街道の整備を始めてから四百年あまりもの歳月が流れました。慶長九年（一六〇四年）には江戸日本橋が五街道の起點となり、その後、五街道を中心に一里塚や並木などの施設が次々と整備され、東海道は日本を支える大動脈として、人・物・文化の交流に大きな役割を果たしてきました。さまざまな歴史を運んだ東海道、この道を歩き、踏みしめ、道が果たしてきた役割、これらの姿を見つめましょう。

東海道四百年の歩みを踏みしめる



現在の道を守っています

かつての東海道は、現在国道1号や15号として、人の移動や物流を支えています。横浜国道事務所ではこれら神奈川県内の主要な国道（神奈川県内の国道延長の約4割にあたる約258km）を管理しています。道路を安全で快適に使っていただくために、日々の点検やパトロールをはじめ、道路構造物の補修や修繕、清掃作業などを行っています。

宿場マップについて

東海道には53の宿場が（神奈川県内では9宿）ありました。これらの宿場は旅の宿として繁盛し、現在もその周辺には当時の名残をとどめる史跡や名所が数多く残っています。そこで、このマップでは道中の見どころや自然、行事などを広く網羅して、歩きながら東海道の「むかし」と「いま」が楽しめるように神奈川県内の宿場を5冊に分けて編集しています。

なお、表示しているルートは概ね旧東海道に沿ったウォーキングルートであり、実際の旧東海道とは異なる場合があります。

東海道現代遊覧站

保土ヶ谷宿

難所「権太坂」を目前に、旅人たちがひと息入れた宿。

江戸を出て最初の難所といわれる、急坂「権太坂」の手前にあった宿場です。当時、「権太坂」を登るつらさは厳しいもので、旅人の多くは保土ヶ谷宿で休息し、英気を養ってから越えて挑んだといわれています。宿場としては、慶長六年（一六〇一年）に成立しましたが、東海道自体のルート変更に伴って、慶安年間（一六四八～五）に東へ移り、新町が形成されました。

武相国境モニュメント

この地が武蔵国と相模国の境であり、昔は木の杭が立てられていました。現在のお堂は関東大震災後に再建されました。

神明社

本陣は代々羽林家（明治初年に軒部家に改姓）がつとめました。現在は当時を偲ばせる通用門や土蔵が残っています。

境内には、裏山から現在の場所へ移動しました。伊勢神宮の御領地として寄進された樺谷御厨（はんがやみくりや）と呼ばれました。この「はんがや」が「ほどがや」の地名の由来ともされています。

新町

新町が形成されました。

東海道知つ瓦

ビール坂

明治26年（1893年）に東京麦酒がこの地でビールの醸造をはじめ、後に大日本ビール会社もこの地に湧出する清水を利用してビール等を製造していたことから、名づけられました。

橋樹神社

江戸方見附跡

大蓮寺

保土ヶ谷土木事務所（横浜市）

神明社

橋樹神社

ビール坂

明治26年（1893年）に東京麦酒がこの地でビールの醸造をはじめ、後に大日本ビール会社もこの地に湧出する清水を利用してビール等を製造していたことから、名づけられました。

橋樹神社

江戸方見附跡

大蓮寺

保土ヶ